

## 託送料金値上げに伴う料金改定について

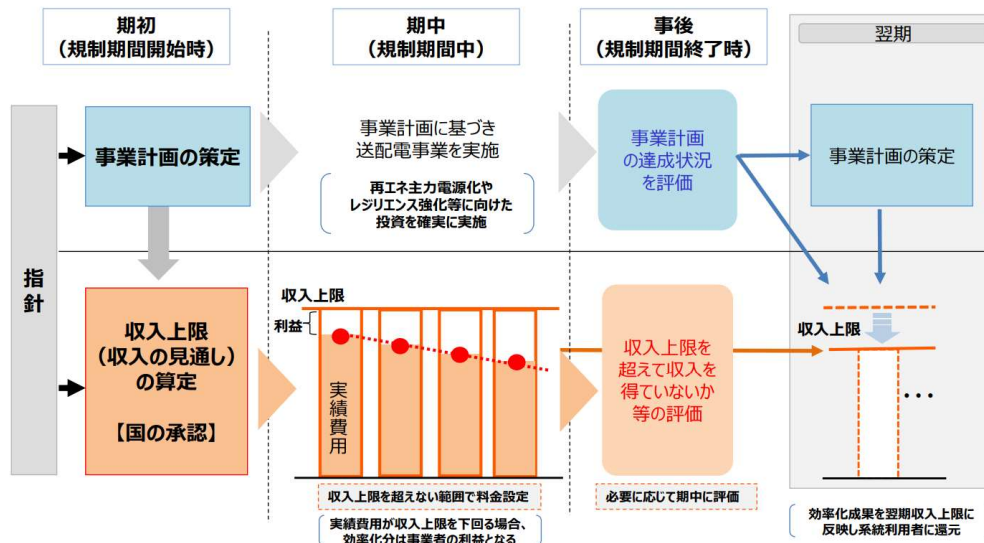
2023 年 4 月より各地域の一般送配電事業者が新たな託送料金制度を導入することにより、託送料金※が値上げされます。これに伴い弊社の電気料金につきましても、託送料金の値上げ相当分の料金改定をさせていただきますので、下記の通りお知らせいたします。

何卒ご理解賜りますようお願い申し上げます。

※電力供給に係る送配電設備を利用する際の費用

### 【レベニューキャップ制度概要】

- 一般送配電事業者における必要な投資の確保とコスト効率化を両立させ、再エネ主力電源化やレジリエンス強化等を図ることを目的として設定されております。
- 一般送配電事業者が一定期間ごとに収入上限について国より承認を受け、その範囲で柔軟に料金を設定できる制度です。



出典: 電力・ガス取引監視等委員会「託送料金制度 (レベニューキャップ制度) 中間とりまとめ」

レベニューキャップ制度について詳細は下記 URL をご確認ください。

[https://www.emsc.meti.go.jp/activity/emsc\\_electricity/pdf/report\\_20211124b.pdf](https://www.emsc.meti.go.jp/activity/emsc_electricity/pdf/report_20211124b.pdf)

### 【値上げ単価】

先日、各地域の一般送配電事業者が経済産業大臣に認可申請(2022 年 12 月)した託送料金単価、およびイーセル料金単価の増加額（予定）は以下の通りとなります。

※今後認可される託送単価とは異なる場合がございますので、予めご了承ください。

2023 年 3 月頃に改めて弊社のホームページにてお知らせする予定でございます。

〈高圧〉

	託送料金単価				イーセル料金単価の増加額 (予定)	
	値上げ前※税込み		値上げ後※税込み			
エリア	基本料金	従量料金	基本料金	従量料金	基本料金	従量料金
東京	555.50 円	2.37 円	653.87 円	2.37 円	98.37 円	0.00 円
中部	396.00 円	2.53 円	467.50 円	2.74 円	71.50 円	0.21 円
北陸	594.00 円	2.21 円	748.00 円	2.40 円	154.00 円	0.19 円
関西	517.00 円	2.65 円	663.30 円	2.86 円	146.30 円	0.21 円
中国	517.00 円	2.59 円	658.90 円	2.86 円	141.90 円	0.27 円
四国	594.00 円	2.56 円	712.80 円	2.73 円	118.80 円	0.17 円
九州	456.50 円	2.71 円	553.28 円	3.09 円	96.78 円	0.38 円

〈特別高圧〉

	託送料金単価				イーセル料金単価の増加額 (予定)	
	値上げ前※税込み		値上げ後※税込み			
エリア	基本料金	従量料金	基本料金	従量料金	基本料金	従量料金
東京	379.50 円	1.33 円	423.39 円	1.33 円	43.89 円	0.00 円
中部	313.50 円	1.28 円	357.50 円	1.30 円	44.00 円	0.02 円
北陸	434.50 円	1.18 円	572.00 円	1.29 円	137.50 円	0.11 円
関西	407.00 円	1.26 円	440.00 円	1.24 円	33.00 円	-0.02 円
中国	341.00 円	0.93 円	383.90 円	1.02 円	42.90 円	0.07 円
四国	522.50 円	1.15 円	553.30 円	1.17 円	30.80 円	0.02 円
九州	434.50 円	1.49 円	482.05 円	1.64 円	47.55 円	0.07 円

【託送料金変更後の電気料金単価例】

下記条件に当てはまるお客様の場合の、託送料金変更後電気料金単価例になります。

エリア：中部

契約：高圧標準メニュー

料金	変更前	変更後
基本料金	1,200 円/kW	1,271.5 円/kW(+71.5 円)

従量料金	15 円/kWh	15.21 円/kWh(+0.21 円)
------	----------	----------------------

※現時点における申請中の単価での試算となります。今後認可される託送料金単価とは異なる場合がございます。

以上